

親を頼れずに育った若者たちの声を聴く ～子どものために大人ができること～

大学生の「みーたん」と、社会人の「チャンプ」二人は、親を頼れない経験、児童養護施設での暮らし、さまざまな大人との出会いを経て、自分らしく輝き、夢に向かって歩んでいます。彼らの声を聴き、親を頼れない子どもとその背景に目を向けて「子どものために大人ができること」を一緒に考えてみませんか。

横浜市在住・在勤の
250名様 (定員超過の場合は抽選)

2.26水

14:30～16:30 (14:00開場)

会場：男女共同参画センター横浜
フォーラム (戸塚駅徒歩5分)

プログラム

1. 講演「親を頼れない子どもたち」

講師 **林 恵子 氏** 認定NPO法人ブリッジフォースマイル代表



津田塾大学卒業後、人材派遣会社に入社。2児の出産後、育児中にキャリアに悩み参加したビジネス研修で、児童養護施設を調査する機会を得る。2004年にNPOブリッジフォースマイルを創設。「親を頼れないすべての子どもが笑顔で暮らせる社会へ」と掲げ、児童養護施設退所者などの自立支援等を行う。著書『できるかも。働く母の“笑顔”がつながる“社会起業ストーリー”』（英治出版）ほか。

2. 児童養護施設退所者のスピーチ

みーたんの話

「家出を選ばざるを得なかった子どもたち」

チャンプの話

「居所不明児童」

“誰かに見つけて
もらいたかった”

“出会った大人が自分を
尊重してくれて嬉しかった”

※スピーチは一部、収録映像となる場合があります。



みーたん

大家族の中、面前DVを含む、父からの虐待を受けて育つ。児童相談所に措置され、社会的養護のもとで生活した経験がある。現在、福祉系の大学3年生。奨学金とアルバイト収入により一人暮らしをしている。

チャンプ

小1の時、両親が離婚。父親に引き取られ、小1～4は父子で「車上生活」。小4の時、父親が脳梗塞で倒れ、それをきっかけに児童養護施設へ入る。現在はパーソナルトレーナーとして独立し、2025年1月に新規店舗を開業。

3. 登壇者によるトークセッション

- 前を向けたきっかけ、記憶に残っている大人とのかかわり
- こどもの権利を教える安全教育って？
- 虐待通報していいのか迷う…通報するとどうなるの？ など

戸塚区役所こども家庭支援課
こどもの権利擁護担当も登壇し
戸塚区での取組もお伝えします！



プログラムの最後は

シンガーソングライター **川嶋あい**さんによるミニライブ



児童養護施設で暮らした経験をもつ川嶋あいさんにご登壇いただきミニライブを行います。楽曲は当日をお楽しみに♪



申込方法

2月17日(月)までに申込フォーム(電子申請)かFAXで申込

FAX申込は①氏名②電話番号③居住区(又は勤務区)④手話通訳・乳幼児と共に鑑賞できる親子室の希望有無を記載し、人権講演会担当あて FAX 045-881-0241

※定員超過の場合は抽選。ご参加いただけない場合のみ2月21日(金)までにメールまたは電話でご連絡します。

申込フォームはこちら

